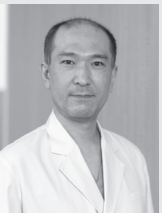


今月の
ピックアップ
ドクター



NTT東日本札幌病院 道免寛充 医長

どうめん・ひろみつ／
2002年北海道大学
医学部卒業。同年、北
海道大学第二外科に入
局。北海道大学病院、
函館中央病院、名寄市
立病院、国立病院機構
函館病院などを経て15
年にNTT東日本札幌
病院呼吸器外科医長に
就任。

札幌市中央区南1条西15丁目

〒001-6233-7000

<https://nmcs.nt-east.co.jp/>

国内B級ライセンス取得。 肺がんの低侵襲手術に実績



地域中核病院として急性期医療を担い、今年2月に100周年を迎えた「NTT東日本札幌病院」で、呼吸器外科の医長を務めるのが道免寛充医長。呼吸器外科ロボット手術の国内B級ライセンスを取得しており、これまで多くの肺がん手術を執刀してきた。

なかでも得意としているのが低侵襲性手術だ。単孔式胸腔鏡手術は胸部に2〜4センチの1つの穴からがんを摘出。一見して手術したとは分からないほど整容性に優れた術式で、術後の痛みが少なく、患者の負担を軽減できる。

また、2019年からは、この単孔式胸腔鏡手術にロボット支援手術を導入。執刀医が3次元画像を確認しながら、カメラと手術機器を備えたアームを操作して、より精密な手術が可能となった。

「根治性と低侵襲性の両立に注力しています。今後も研鑽を重ね、患者さんにとって最適な治療法を提案していきたい」と道免医長。

ちなみに、同院では4月から常勤の呼吸器外科医1人を増員し、手術の待機日数の短縮など、診療体制の充実が図られている。